

分野	前回調査(H29.9月実施)	今回調査(R2.5月実施予定)
在宅医療	1 あなたは在宅医療について知っていますか。	1 前回調査8
	2 あなたはお住まいの区で在宅医療に取り組んでいる医師を知っていますか。	2 前回調査9
	3 あなたは在宅医療や緩和ケアについて関心がありますか。	3 前回調査1
	4 あなたは脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか。	4 前回調査2
	5 「希望するが、実現は難しいと思う」「希望しない」と回答された理由についてお聞かせください。(1つだけ)	5 前回調査3
	6 あなたがもし在宅で療養生活を送ることになった場合、もっとも気になることは何ですか。(1つだけ)	6 前回調査4
	7 あなたはもし入院が必要となった場合、入院の継続や退院後の在宅医療について、誰に相談しますか。(1つだけ)	7 前回調査5
	8 あなたは日ごろ、病気、ケガの時に行くことを決めている「かかりつけ医」をお持ちですか。	8 前回調査6
	9 「持っている」と回答された方にお聞きします。かかりつけ医は次のどれですか。(1つだけ)	9 前回調査7
	10 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ)	
	11 あなたは、ご自身の最期に近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。	「医療の選択」に設問を追加
	12 あなたは人生の最期をどこで迎えたいかなどを書面等で残しておくことは、必要だと思いますか。	
	13 今後、在宅医療を推進していくために、何が必要だと思いますか。(いくつでも)	10 前回調査13
	14 今後、在宅医療の推進のために、行政等に求めることは何ですか。(1つだけ)	11 前回調査14
救急医療	1 新潟市急患センターや西蒲原地区休日夜間急患センターを知っていますか。また、利用されたことはありますか。(1つだけ)	1 同左
	2 あなたは新潟市における救急医療体制について、どのように感じていますか。(いくつでも)	2 同左
	3 あなた自身やご家族の方が夜間や休日等に急に高熱がでた場合、どのような対応を取られますか。(1つだけ)	同左 1.診療所・病院の診療開始まで様子を見る 2.市販薬を服用して様子を見る 3.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)に電話で相談する 4.新潟市急患診療センターに電話で相談する 5.かかりつけ医を受診する 6.初期救急医療機関(新潟市急患診療センターや西蒲原地区休日夜間急患センター)を受診する 7.自分で救急医療機関(病院)を調べて受診する 8.総合病院を受診する 9.救急車を呼ぶ 10.その他
	4 最近、あなた自身やご家族の方が夜間や休日等に急病となられた場合、どちらを受診されましたか。(1つだけ)	4 同左
	5 今までに救急車を利用されたことがある方は、その理由をお聞かせください。利用されたことがない方は、救急車を要請する場合はどんなときかお聞かせください。(1つだけ)	5 同左
	6 現在、救急医療には次に記載するようないくつかの課題があります。知っているものはありますか。(いくつでも)	同左 4.救急車で搬送した患者の約3割は入院を要しない軽症者であることから、緊急を要する重症者の救急搬送に支障が生じている 6.仕事や用事等で医療機関を日中に受診せず、夜間や休日に救急車を利用したり、医療機関を受診(いわゆるコンビニ受診)することにより、真に救急車を必要とする方への救急車の到着が遅れたり、当直する医師への負担が大きくなっている
	7 新潟市では、市民の皆さまに向け広報誌などを活用した、救急車の適正利用、医療機関などの適正受診のための普及啓発を行っています。知っているものはありますか。(いくつでも)	同左 1.新潟市ホームページ 2.医療機関の適正受診(救急車の適正利用)パンフレット 3.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)チラシ・カード 4.新潟日報情報誌 assh 5.新潟日報新聞広告 下越くらしの情報ウィークリー 6.その他 7.知らない
精神疾患	1 あなたやご家族について、もし「うつ病」かもしれないと感じたら、どこに相談しますか。(3つまで)	1 あなたやご家族について、もし「うつ病」等の精神疾患かもしれないと感じたら、どこに相談しますか。(3つまで)
	2 あなたやご家族について、もし「うつ病」を疑うような様子の変化に気づいた場合、どの段階で受診しますか。	2 あなたやご家族について、もし「うつ病」等の精神疾患を疑うような様子の変化に気づいた場合、どの段階で受診しますか。
	3 あなたやご家族について、どのようなところの不調を感じた時に、家族や友人以外の相談機関に相談しますか。(当てはまるものすべて)	3 同左
	4 あなたやご家族について、どのようなところの不調を感じた時に受診しますか。(当てはまるものすべて)	4 同左
	5 新潟市で実施されている精神科救急医療システムを知っていますか。	5 アルコール依存症が精神疾患であることを知っていますか。 1.知っている 2.知らない
	6 精神医療相談窓口を知っていますか。	6 新潟県および新潟市が実施している「精神医療相談窓口」を知っていますか。
	7 今後、新潟市が進めていく精神疾患に対する施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(5つまで)	7 同左
	8 あなたやご家族について、もし認知症かもしれないと感じたら、どこに相談しますか。(3つまで)	8 同左
	9 あなたやご家族について、もし認知症を疑うような様子の変化に気づいた場合、どの段階で受診しますか。	9 同左
	10 今後、新潟市が進めていく認知症施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(3つまで)	10 同左

令和2年度 新潟市医療に関する意識調査 設問案(市民対象)

分野	前回調査(H29.9月実施)	今回調査(R2.5月実施予定)
災害医療	1 あなたは日ごろから、災害に備えて薬や救急セットなどの救急用品を常備していますか。	1 同左
	2 あなたは日ごろから、災害に備えて健康管理のためのお薬手帳などを常備していますか。	2 同左
	3 あなたは災害が発生した場合、まず、どのような伝達手段で医療情報を収集しますか。(2つまで)	3 同左
	4 あなた自身やご家族の方が災害で負傷した場合、まず、どのような対応を取られますか。(2つまで)	4 同左 1.救急用品等で応急措置する 2.かかりつけ医に連絡する、または行く 3.かかりつけに限らず、近くの医療機関に連絡する、または行く 4.初期救急医療機関(新潟市急患診療センターや西蒲原地区休日夜間急患センター)に連絡する、または行く 5.総合病院に限らず、近くの病院に連絡する、または行く 6.避難所や医療救護活動を行う救護所に行く 7.救急車を呼ぶ 8.ご近所などに救援を頼む 9.その他
	5 今後、災害時の医療救護体制を整備していくために、何が重要だと思いますか。(いくつでも)	5 同左 1.医療機関の情報などを市民へ周知する仕組みづくり 2.市民の適切な受診行動についての周知・啓発 3.医薬品や医療資器材の確保 4.医療救護活動を行う医療従事者の確保 5.医療救護活動を行う救護所の設置場所の確保 6.慢性疾患患者や在宅医療患者などへの医療提供体制の整備 7.その他
医療情報	1 あなたは病気や医療に関する情報を、主にどこから得ていますか。(1つだけ)	1 同左
	2 あなたは日ごろ、保健・医療に関する情報の中で知りたいと考えているものは何ですか。(3つまで)	2 同左
	3 あなたが保健・医療に関するサービスを選択する際に、どのような情報があると良いと思いますか。(2つまで)	3 同左
医療の選択	1 あなたは医療機関をどのような方法・手段で探しますか。(いくつでも)	1 同左
	2 あなたは受診する医療機関を選択するとき、診療科目の他にどのような点を重視しますか。(2つまで)	2 同左
	3 あなたはご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で選択・決定するためには、何が重要だと思いますか。(2つまで)	3 同左
		4 「在宅医療」前回調査10 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ)
		5 あなたは、ご自身の最期に近い場合、どのような医療ケアが受けたいですか。(2つまで) 1.一日でも長く生きられるような医療ケアを受けたい 2.苦痛を和らげるための医療ケアを受けたい 3.できるだけ自然な形で最期を迎えられるような医療ケアを受けたい 4.その他
		6 「在宅医療」前回調査11 あなたは、ご自身の最期に近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族等や医療介護関係者とのく らい話し合ったことがありますか。※「ご家族等」には、家族以外に、あなたが信頼してあなたの医療・ケアに関する方針 を決めてほしいと思う人(知人・友人)を含みます。 1.詳しく話し合っている 2.一応話し合っている 3.話し合ったことはない
		7 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」と回答された方にお聞きます。誰と話し合っていますか。(当てはまるもの すべて) 1.家族・親族 2.友人・知人 3.医療関係者 4.介護関係者 5.その他
		8 「話し合ったことはない」と回答された方にお聞きます。これまで話し合ったことがない理由は何ですか。(当てはまるもの すべて) 1.話し合いがなかったから 2.話し合う必要性を感じなかったから 3.話し合うきっかけがなかったから 4.その他
		9 「在宅医療」前回調査12 あなたは、ご自身が意思決定できなくなった時に備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかな どを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。 1.賛成 2.どちらかと言えば賛成 3.どちらかと言えば反対 4.反対

令和2年度 新潟市医療に関する意識調査 設問案(市民対象)

分野	前回調査(H29.9月実施)	今回調査(R2.5月実施予定)
医療提供の満足度	1 新潟市の医療は充実していると思いますか。	1 同左
	2 「どちらかと言えば充実していない」「充実していない」と回答された方にお聞きします。特に充実してほしいものは何ですか。(2つまで)	2 同左
	3 新潟市における医療施策について、満足していますか。 ①医療施策全般 ②在宅医療体制の推進 ③救急医療体制の整備 ④精神科医療体制の整備 ⑤災害時における医療体制の整備 ⑥医療提供体制において必要な人材確保と利用者ニーズに対応できる質の高い人材育成	3 同左

令和2年度 新潟市医療に関する意識調査 設問案(医師会員対象)

分野	前回調査(H29.9月実施)	今回調査(R2.5月実施予定)
在宅医療	1 現在、新潟市は在宅医療支援提供体制の強化を推進しており、今後も取組みを進めていきたいと考えていますが、どのように思われますか。	1 同左
	2 現在、患者の自宅での在宅医療を行っていますか。	2 同左
	3 「いいえ(今後も行う予定はない)」と回答された理由についてお聞かせください。(複数回答可)	3 同左
	4 在宅医療を実施するうえで、課題があればお教えてください。(複数回答可)	4 同左
	5 往診、訪問診療の実施状況についてお聞かせください。	5 同左
	6 患者が終末期医療について、書面等で意思表示をしておくことは必要だと思いますか。	6 患者が人生の最終段階における医療・ケアについて家族や医療介護関係者等とあらかじめ話し合うことを進めることについて、どのように思われますか。 1.賛成 2.どちらかと言えば賛成 3.どちらかと言えば反対 4.反対
	7 今後、新潟市の在宅医療推進について、何が必要だと思いますか。(3つまで)	7 患者が医療・ケアの選択について意思決定ができなくなった時に備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、どのように思われますか。 1.賛成 2.どちらかと言えば賛成 3.どちらかと言えば反対 4.反対
		8 前回調査7
救急医療	1 新潟市における休日夜間の救急医療体制の今後について、どのように感じていますか。	1 現在の新潟市の救急搬送・受入れについて、どのように感じていますか。 1.良い 2.どちらかと言えば良い 3.どちらかと言えば悪い 4.悪い 5.わからない
	2 「やや不安を感じる」「不安を感じる」と回答された先生にお聞きます。どのような点で不安を感じられましたか。(3つまで)	2 前回調査1
	3 市民への適正受診の普及啓発には、何が必要だと思いますか。(3つまで)	3 前回調査2
		4 前回調査3 1.新聞・テレビなどの広報媒体の積極的な活用 2.適正受診に関するシンポジウム・公開講座の開催 3.NPOなど市民活動団体の自発的取組みの育成・支援 4.地域包括支援センターや介護・福祉関係者との協力 5.条例制定などによる適正受診の啓発 6.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)の周知 7.かかりつけ医の推進 8.医師会や医療機関と連携した院内掲示等を通じた啓発 9.その他
精神疾患	1 日常診療のなかで、精神疾患が疑われる患者への対応について、難しさや不安を感じられたことはありますか。	1 同左
	2 「はい」と回答された先生にお聞きます。どのような点で難しさや不安を感じられましたか。(複数回答可)	2 同左
	3 精神疾患が疑われる患者を精神科へ紹介する場合、どのような連携が重要だと思いますか。(複数回答可)	3 同左
	4 精神科救急情報センター(平日夜間と休日に、関係機関からの要請を受け、救急患者のトリアージ、入院先の調整、外来受診・入院可能な精神科医療機関の紹介を行うもの)を知っていますか。	4 同左
	5 精神医療相談窓口(緊急に精神科医療や相談を必要とする方や、そのご家族が、24時間365日相談できる電話相談窓口)を知っていますか。	5 同左
	6 認知症診療を行っている先生にお聞きます。認知症診療をしていくうえで必要と感じていることの中で、優先度が高いものをお教えてください。(3つまで)	6 同左
	7 認知症診療を行っている先生にお聞きます。今後、新潟市が進めていく認知症施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(3つまで)	7 同左
災害医療	1 新潟市における災害時の医療救護体制について、どのように感じていますか。	1 同左
	2 「やや難しさや不安を感じる」「難しさや不安を感じる」と回答された理由についてお聞かせください。(3つまで)	2 同左
	3 今後、災害時の医療救護体制を整備していくために、何が必要だと思いますか。(複数回答可)	3 同左